

授業準備のための動画処理スクリプトまとめ(自分用)

mov2Gif.py

- 動画を、gifアニメに変換します。

使い方(自分用メモ)

- ffmpegのパスが通っている必要あり
- 適当な場所で実行すれば、初回実行時に- 実行すれば、`subprocess.run()`でffmpegを裏で起動し、フォルダ内の動画全てを処理します。
 - `python3`以上じゃないと、`subprocess.run`がつかえないので、このコードは動きません。
- フレームレートや動画サイズを変えたい場合は、`mov2gif.py`の`fr`と`width`を指定してください。

dl.py

- youtubeの動画をダウンロードします。

注意 違法ダウンロード等を勧めているわけではありません、授業でネット上のコンテンツを授業で利用するときは、教員が正しく理解してからにしましょう。

Q2-3インターネット上（教材用動画サイト、あるいは動画共有サイト（ユーチューブ等））に、教材として使えそうな動画がありました。授業で使い、可能であれば他の学級とも共有していきたいと思うのですが、授業で視聴することや、ダウンロードすることに問題はないでしょうか？

A2-3 公表された著作物は授業等に供することを目的とする場合は、第35条の権利制限で著作権者の許可なく利用することができます。教材用動画サイトはその用法を守れば問題ありませんが、動画共有サイトは、注意が必要です。違法動画が含まれているかもしれません。(中略) <動画共有サイトの場合> ユーチューブやニコニコ動画等の誰もが投稿出来る動画サイトは、著作権侵害の温床となっています。令和2年に「著作権法の一部を改正する法律」が成立し、違法なインターネット配信による音楽・映像を違法と知りながら複製することを私的使用目的でも権利侵害とする改正が行われました（第30条第2項～第4項）。こうしたサイトに公開されている映像が、確実に合法なものか違法なものか見分ける方法がありませんので、利用には十分ご注意ください。

【参考】日本著作権教育研究会のQ & A